



シルバーだより

平成 20 年 1 月 1 日 発行

久市シルバー人材センター広報部会
 牛久市女化町859-3
 電話029-871-1468
 e-mail usiku@sjc.ne.jp

会員数 男性 397 名 女性 137 名 合計 534 名

≡ 年頭の言葉 ≡

健康な体力をつくり豊かな老後をおくりましょう

撰 牛久市シルバー人材センター
 理事長 赤松泰三



新年明けまして おめでとうございます。
 牛久市シルバー人材センターの皆様ご家族
 おそろいで、元気に新春をお迎えのこととお
 慶び申し上げます。

旧年中は団塊の世代、構造改革、さらに美
 しい町づくりなどが事業の中心となり、当シ
 ルバーの事業にもその影響が随所に見られ
 ました。

シルバーの会員と事務担当者は一致して
 その対応にあたり、発注先に満足の出来るサ
 ービスを提供してきました。担当された方々
 には本当に感謝しております。

2007 年の日本人の平均寿命は女性 85 歳、
 男性 79 歳といわれており、いよいよ高齢化
 時代となりました。2008 年のシルバー人材セ
 ンターの役割は高齢化社会にますます必要
 であり、有意義な事業となります。

自主、自立、協同、共助
 の理念の下に、健康な体力をつくり豊かな
 老後を楽しみましょう。

次の 5 項目を参考にさせていただければさ
 らに楽しみが増します。

- (1) 決断と実行：決断は早く、停滞は一步後
 退である
- (2) 原価・工程・品質の管理：安く早く良い
 ものを
- (3) 業務改善：常に見直しを怠らない
- (4) 計画・実行・監査：監査なき仕事は仕事
 にあらず
- (5) 創造と改善：工夫は無限にある
 健康な体力をつくり、楽しく老後を過ごし
 ましょう。

あけましておめでとうございます 役員一同

事務局	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副理事長	副理事長	理事長	
一	坂井平	池井夫	神戸文夫	高島明夫	宮本久夫	山田由美	菅井正夫	柳田一夫	今野昌	鴨志田透	中山俊秀	根岸幹和	馬淵弘志	武石よし	正田晶	鈴木伊平	赤松泰三



インフォメーション広場

川柳

食ふ物も 食わずに貯めて
死んだ人 —井上梅太—

灯油高 暖冬様に たすけられ
薬害の 役人ミスを 税金で
この国は どこえ行くやら 初詣
—クボハゼ—

「偽」の文字もむなしや 筆納め
餅ころがし 餡、唾、真っ赤 福逃げる
—三木—

俳句

草の実にしがみつかれてゴミ拾ふ
—井上梅太—

冬日浴び 银杏拾う 親子あり
帰り花 山ふところに まどろみぬ
直売の 柿を諸手に 土産とし
寄せ鍋や 飯を加えて 打ち上げぬ
皮干して ふくれ蜜柑や 七味合え
—金巖閑話—

短歌

掛け声と共に四人で抱へ上げ
粗大のゴミをトラックに積む
—井上梅太—

狂歌

大げさを違反じゃないとうそぶきて
行方も知らぬ 国民年金
—三木—

◆ 牛久市シルバー人材センター

10周年記念誌発行委員会からのお知らせ

会員の皆様に前号で資料の提供をお願いしておりましたが、黒澤徳雄、渡辺巖、大木種代の各氏から貴重な資料のご提供を頂きました。

本当にありがとうございました。

これからは、これらの資料を基に編集作業を進めてまいりたいと考えております。

作業を進める中で、さらに皆様方にはご協力等をお願いすることがありますので、よろしくお願ひいたします。

◆ 事務局からのお知らせ

※ 3月と5月に「総会」が開催されます。

会員の皆さんに直接かかわる大切な議題がたくさんあります。最後に短時間での“ブロック顔合わせ会”も企画中です!! 就業日でない方は出来る限りご参加ください。

※ 襖・障子貼り講習会

2月26日・27日に襖・障子貼り講習会を開催します。シルバー会員の仲間がご指導いたします。ご参加お待ちしております。

※ 安全就業スローガン募集

全国シルバー人材センター事業会にて、安全就業スローガンを募集しています。平成17年度から平成19年度は、「安全で 活かせるシルバーの知恵と技」でした。審査後最優秀作品には表彰もあります。ぜひ、牛久シルバー人材センターまで、作品をお寄せください。締め切りは3月18日です!!

賛助会員紹介 いつもご支援いただきましてありがとうございます。



スポーツクラブ牛久

牛久市南 2-34-13
電話(872)6460



医療法人 つくばセントラル病院
牛久市柏田町 1589-3
電話(872)1771



(有)長浦自動車工業

牛久市さくら台 1-77-4
電話(872)2921

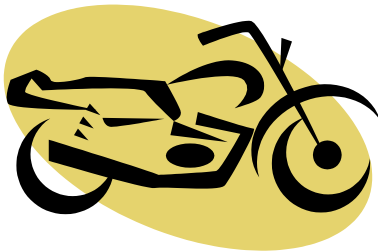


安全部会だより

自転車の交通事故が年々増えている...

牛久シルバー人材センターで **自転車** 安全講習会開催

交通量の多い道路での事故は、日常多発しているが、自転車利用者の日常生活圏内における、身近な道路には交通量の少ないところもあり、自転車利用者は交通事故に対する警戒心や安全認識が乏しいまま、自分勝手に行動しがち...



したがって自動車ドライバーも交通量が少ないことに安心し、つい油断し漫然と走行している。そこで事故発生危険が高まる。特に交通量が少ない住宅地域などの「生活道路」を通行するときは、交差点、なかでも信号がない交差点を早めに発見し、自転車の有無をたしかめてから通行する習慣をつけることが大切。

自転車交通安全講習会

- ◎ 日時:平成20年2月22日(金)午前10時
- ◎ 場所:牛久市総合福祉センター1・2会議室
- ◎ 講師:牛久市交通防災課
- ◎ 申し込み先:牛久市シルバー人材センター
(029-871-1468)に電話してください

- ※ 当日の人数に限りがありますので、お早めをお願いします。
- ※ 牛久市シルバー人材センター主催自転車安全講習会に参加された会員には「自転車安全講習会修了証」をお渡しいたします。

牛久市シルバー人材センター安全部会

◆ 広告記事

3月予定の
ブロック会議に参加しよう。

通常総会(3月18日・火)終了後、
同じ所で開催されます。



面白いこと企画してみませんか
思っていること話してみませんか
アイデア話し合いましょう

理事会だより

事務费率引き上げ・会費値上げについて

平成 20 年 1 月 1 8 日 (金) 総合福祉センター第 2 会議室にて

牛久シルバー人材センター事務比率 **5%から 8%へ**



1. 事務費の引き上げ

事業部委員会より提案された事務費の引き上げの問題をめぐって、全理事の間で、白熱の議論が展開された。引き上げの最大の理由は当センターが変革する環境に対応して健全な発展と運営の効率化を図ると共に、現状の逼迫する市財政に対し、その依存度を出来る限り低減し、自主・独立の運営を確立するため。シルバー人材センターは市からの補助金抑制(H15 年 2169 万→H19 年 1490 万)に対し、人件費の節減で(5 名→3 名)何とか経営を切り回してきた。しかしいよいよ団塊の世代を高齢化社会に向かえ、シルバー人材センターの役割が益々重要性を帯びて来る中で、新時代にな

う、経営は急務となる。センターの自主・独立、新規就業先開拓、理事職務の充実等の経営改革に取り組む費用は試算で 349.2 万円。討議は費用削減対策の更なる追求、人件費以外の事業運営費の節減の可能性等を討議。また茨城県下の各人材センターの事務比率の比較(牛久 5%、県平均は 7%)その他規模の比較を検討しながら適性事務比率を模索した。結論は事務比率を 8%に変更する理事会試案を採択、21 年度の実現を目指し、諸行政機関、各関係団体、民間就業先等お得意様へ了解を求めていくことで理事全員の合意を得た。

2. 会員会費の値上げについて

会員会費が実際には傷害保険料に充当されているという現状の中で、現在、会員会費は 1500 円。ここから賄われるべき保険料は 1 人あたり 2190 円とまったく逆ザヤの現象が生じている。その差額はなけなしの補助費から補

填している現状であり、これを早急に改めなければ健全な財政運営を欠くという問題が議論の対象。県下、他のシルバーセンターの実情と比較し、500 円の引き上げで 2000 円の会費とすることが妥当ではないかという案がまとめられ、総会議案として提出、承認を得ることとなった。



シルバー人材センターと健康について

投稿記事

私は定年後 4 年間ほどは家庭菜園や散歩などで自由時間をすごしていました。やや肥満で、風の引きやすい体質になり、一昨年は病院へ 6 回ほど行きました。知り合いより牛久シルバー人材センターを紹介され、働く喜びの輪の中に入ってみたいと思い、お世話いただくことになりました。

シルバー人材センターの会員になったのが前期高齢者といわれる 65 才の時、昨年の 12 月、西友ひたち野うしく店のオープンから就業することになりました。仕事は駐車場や店内のショッピングカート、籠等の回収整理でした。一日 5 時間、月約 9 日の勤務で、場所は家から 5 分の所にあり、カート等の回収作業で歩く歩数は平均 2 万歩くらいでした。最初は車で通っていましたが、道路は車道と歩道が分離されていて安全でしたので、自転車を(ママチャリ)30 分くらい走らせて通うようになりました。小野川を過ぎたところの急な上り坂も、現在では簡単に登りきることが出来ます。おかげさまでこの一年間医者いらずで過ごすことが出来、本当に嬉しいことです。継続は力なりと言いますので、無理をしない程度の我慢、努力、勇気を持ってこれからもやって行きたいと思えます。私の田舎を思い出す場所が多々牛久にあり、仕事帰りには小野川沿いなどで季節を味わいながら、今日一日安全で楽しく出来たことを思い、妻の待っている家へと帰ります。

菊池寛二

理事 1 年生・シルバー人材センター



福祉センターの業務受付を始めて、五ヶ月くらいたったとき、ある方からシルバーの理事をやってみないかとの話がありました。理事の役には適していないと、辞退したのですが、是非にとということで、お受けすることにいたしました。

さて、理事になって驚いたことは打ち合わせ、会議が多いことです。理事会には総務、事業、安全、広報の四つの専門部会が置かれていて、各理事は二つの部会に所属しなければならないからです。

私は安全と広報部会に席を置き、それぞれの部会が一ヶ月に 1~2 回の会議をするので、いつも福祉センターに通っている感じです。安全部会では会員の安全就業を目指して、安全運転講習会を開いたり、安全パトロールということで就業先を訪問したりしております。また、広報部会では、定期刊行のシルバーだよりの編集に苦慮したり、なれない仕事で結構忙しい状態ですが、これからもがんばっていきたくと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

柳田 一夫